

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%
保護者様： 11名回答、回答率 78%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・法令上の職員配置はできている。運営上職員を増員したい場合は他教室と連携することで適切に配置している。
- ・階段があるが、入退室時には必ず職員を配置することで安全面に配慮している。

○業務改善

- ・業務についてミーティングを行い、情報共有、意見交換を行っている。
- ・毎月本社で行われる職員の研修に参加したり、教室内研修を行ったり、職員のスキルアップに努めている。

○適切な支援の提供

- ・日々、ミーティングを行い、子どもの様子や支援に関して気になったことは話し合い、全スタッフで共有している。
- ・月ごとにテーマを決め、それに沿った療育内容を全スタッフが考え、多彩なプログラムを実施できるよう工夫している。長期休暇には、クリスマス会など季節ならではの活動や、近隣教室との合同イベント等、療育活動以外のプログラムも実施している。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校や保護者、相談支援事業所との情報共有や自立支援協議会への参加を行っている。
- ・学校お迎え時には当日の児童の様子や事業所での様子など情報共有を行っている。
- ・保護者とは、送迎時やサービス提供記録にて児童の様子をお伝えしたり、電話での情報共有、相談援助を行い連携を図っている。

○保護者への説明責任等

- ・半年に一度保護者会を開催し、事業所での取り組みをお伝えしている。
- ・サービス提供記録や送迎時に保護者とのコミュニケーションをとることができている。

○非常時等の対応

- ・月に1回、避難訓練を行い地震・火災・津波・不審者対応など様々なケースを想定し実施している。虐待防止に関しては、虐待防止チェックリストを用いて研修を行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

・「教室が狭い」「もう少し広い方が理想的」「玩具が少ない」というご意見を頂いた。

○適切な支援の提供

・「魅力的なプログラムが多々あり、それぞれに狙いが定められていてよい」というご意見を頂いた。

・障害のない子どもとの交流については、「学校で交流しているので同じような子どもたちとゆっくり過ごしてほしい」「特に求めている」というご意見を頂いた。

○保護者への説明等

・「ニュースレターを毎月楽しみしている」というご意見を頂いた。

○非常時等の対応

・「定期的に訓練があるので、子どもの防災の意識が高まっている」というご意見を頂いた。

○満足度

ご意見もなく、どの項目も90%以上「はい」とお答えを頂いた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

・全スタッフが課外活動の企画案やご利用の児童に合わせた療育活動の企画を立案できるように指導する。

○改善できた点・まだ残る課題

・課外活動企画案や療育活動企画など立案できるようになってきた。

・事業所の入り口や階段に関しては、職員、子どもたちともに意識して昇降できているが、引き続き安全面に配慮していきたい。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・支援に関しては全スタッフが意見を出し合い、多彩な支援ができるように工夫している。
- ・保護者のニーズに合わせた個別課題に力を入れている。
- ・ミーティングや振り返りを行い全スタッフが子どもの特性や様子を把握し、情報共有できている。

○改善点

- ・事業所入り口の段差や階段に関する安全管理面の配慮が必要である。
- ・地域・保護者との交流。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・事業所入り口に関しては、子どもたちの意識も芽生えてきたが、今後も全スタッフが配慮の必要性を認識し子どもたちが昇降する際は、声掛け誘導を行う。
- ・地域交流に関しては、ご希望していないご利用者様も多いため難しいが、参加している灘区の自立支援協議会が開催している地域イベントを随時告知していくことで情報提供を行っていく。
- ・保護者様から気軽に相談していただける環境づくりに取り組む。

○1年間で取り組む具体策

- ・利用者の入退室時には、段差や階段下にスタッフを配置する。
- ・年間4回実施されている子供部会に参加し、保護者の参加できるイベントがあればチラシなどを配布して周知する。
- ・保護者様のご要望や求めている方を把握しお電話や面談の機会を増やしていく。

スマートキッズ